

# 聞き取りを中心とした授業展開の提案

—通訳訓練を視野に入れて—

## *Proposal for a Listening Comprehension Oriented Classroom*

— *With focus on interpretation practise* —

中 村 俊 弘

There are very few schools offering training in interpretation skills in advanced Chinese classes. An overview of classes reveals that even from the perspective of practical training, there is a lot to be desired. Taking into consideration the needs of the times, it would appear that universities and colleges will be required to bring originality to their curriculums and that even at these institutions of higher education, there will be a need to incorporate practical skills. I wish to propose a course for advanced Chinese language students with practical skills in mind.

### はじめに

外国語を学ぶ目的にはいろいろある。大学で中国語を専攻している学生の全員が卒業後は中国語を使って仕事をしたいと考えているわけではないだろう。むしろ明確な目的を持たない学生の方が多いかもしれない。しかし、その一方で卒業後は中国語を使って仕事をしたい、あるいは通訳などに従事したいと考えている学生もいるであろう。また、少子化が進むにつれて大学の授業に対しても他とは違う、特徴のあるカリキュラムが求められるようになってくるのではないかと思う。民間の英語学校などと提携した授業を展開している大学があるのも、そういったことを見据えたものだと言えるかもしれない。そこで提案したいのがコミュニケーションを中心としたビジネス中国語や通訳中国語の授業である。教材と授業の進め方を考えれば、民間の学校と提携しなくても授業を展開することは十分可能だと思う。本稿では通訳中国語については別の機会に譲ることとし、中国語専攻の学生を対象としたビジネス中国語及び通訳中国語に耐えうるだけのリスニング力を中心とした力を養成することを念頭に置いた授業の展開について、具体的にどのような教材を使用し、どういう練習を入れていくかということ提案したいと思う。なお、ここで提案する授業は事前に受講選考を行う自由選択科目（英語ではこういう方式を取り入れている大学がある）とし、学生はもちろん担当者にもかなりの負担がかかるということを前提としている。

## 現在の問題点

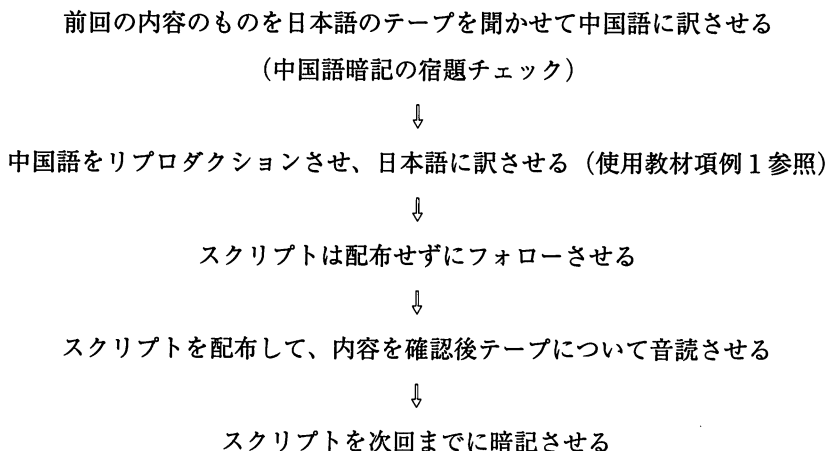
現在のさまざまな環境の中でこういった授業を展開していく上での一番大きな問題は教材であろう。学生にとっては身近で親しみやすいかもしれないが、市販されている教材の多くが学校を舞台にしており、社会に出てから使えるかという点で少し疑問が残る。確かに社会にも出ていない学生にビジネスの場面での中国語を勉強させたところでピンとこないかもしれないが、採用する側からすれば、ビジネス中国語を勉強した学生の方が魅力的であろうし、実際、単語を変えれば、文法事項や表現などは現在市販されている学校を舞台にしたもので十分すぎるくらいなので、ビジネス中国語といってもとりわけ難しいものでもない。

一方、通訳について言えば、教材以外に設定した目標に到達できるのかという根本的な問題がある。英語は中学から始めているということもあり、根本的な基礎力が違うと言えばそれまでだが、英語に関しては専攻のカリキュラムに通訳訓練を取り入れている大学が多いのに比べ、中国語ではLLなどを取り入れた授業は展開されていても、通訳を意識した授業はごく少数である。4年間で通訳できるくらいの力をつけるのは実際不可能かもしれないが、それを目指した授業展開は可能ではないだろうか。1回生、2回生でしっかりとした基礎力をつけ、3回生で通訳訓練に耐えうるだけのリスニング力を中心とした力を養い、4回生で通訳訓練を展開するということはできると思う。

## 授業構成と注意点

90分の授業を前半と後半に大きく分ける。

- ① 前半ではビジネス中国語を使った授業で次のような流れとする。



## 聞き取りを中心とした授業展開の提案（中村）

最初は前回の復習から始める。聞き取った中国語を次回は音声による日本語→中国語という形で練習させる。つまり前回の中国語を丸暗記させてくるのである。インプットした中国語の量が少なければ、どんなにがんばっても中国語はアウトプットできないからである。なお、応用力と緊張感を出すために復習は前回と全く同じものと少し語彙を変えたものとの2種類を用意する（使用教材項例2参照）。

リプロダクションとはフレーズやセンテンス単位で聞いて、その後すぐにそのまま再生する練習で、一定の情報量を頭の中に残す、反復しようとするので集中して聞かためリスニング力が向上する効果があるだけでなく、聞いた中国語を再生するためには構文をしっかり把握しなければ再生できないので、構文の組み立て力が必要となり文章構成力をつけるということも期待できる。

また、最初は慣れていないため、短い単位から始めて徐々に長くしていく、あるいは日本語で練習し、聞き取ることができれば情報が頭に残りやすいとすることを確認させるということも必要である。

要求としては耳からインプットされたもの（聞き取ったもの）をすべてそのままアウトプット（口頭で復唱）できるようにすることであるが、原稿を目からインプットして、原稿から目を離してアウトプットする、インプットしたものを使用する語彙を変えて正しく内容を伝えるというさまざまなバリエーションも可能である。また、全文が聞き取れない、頭に残らない場合は「誰が何をしたか」という主語と述語を聞き取るところから始めさせるようにする。

一方、フォロー（シャドーイングとも言う）とは聞こえてくる中国語を追いかけて、ことばをそのまま口に出して再生していくことで、これをやることにより音への反応を速めて、集中力を高めることができ、発音や語調を矯正することもできる。また、聞くことと話すこととの分離作業を行うことにより、スピーディーでスムーズなコミュニケーションの訓練ともなる。これも最初は慣れていないため、既習のテープから始めるとよいと思われる。また、日本語で練習すると日本語力の強化にもつながる。また、この練習をするときには単なる機械的な作業に終わらせず、きちんと意味を考えながら進めることが大切で、時には自分のフォローの声を録音して客観的に聞かせることも刺激を与える意味でいいと思われる。

② 授業の後半ではまとまった文章の聞き取り練習をする（使用教材項例3参照）。

最初に1～2回通して聞かせる



聞いた文章を全体、あるいは段落ごとにサマリーさせる

（内容についての質疑応答でもよい）



内容がきっちり聞き取れているか確認するために日本語に訳させる



スクリプトを配布して、内容を確認後テープについて音読させる



リプロダクションさせる

(構文をしっかりとりえることに重点を置く)

中国語は他の言語より聞き取りが難しいと言われる。また、漢字を使っているという点で日本人はどうしても、音声面での対応が弱い。ただ、通訳ということを考えた場合、しっかりと内容が聞き取れなければ訳出は不可能である。そのためにはしっかりとした音声認識力と聞き取り能力を高めなければならない。リスニング練習を展開する上では以下の点に注意する必要がある。キーワードや話題の中心に注意を払わせ、全体を通してどういう内容のことを言っているかを聞き取るようにさせる、全体の内容が理解できたら、細かいニュアンスもつかめるようにするため、一字一句細かいところまで聞き取るようにさせる、センテンスが聞き取れない、頭に残らない場合は先にも述べたように主語と述語を聞き取るところから始めさせる、速くて聞き取れない語はまず音節数を聞き取らせ、次に声調を頼りに考えさせる。聞き取れない場合は、他の表現や単語に言い換えてサポートしながら、前後の流れから意味を推測することを指導する。

また、ここで大切なのは聞くときにはメモをとらせないということである。最初からメモをとるクセをつけてしまうと、書くことに集中し、耳がおろそかになる、聞き取れた単語だけの羅列になるといった弊害が出てしまうためであり、基本は頭に残すということを意識させる。また、日本語に訳させる場合は前半のビジネス会話とは違い、日本語らしさということよりもむしろ直訳調できちんと一字一句にこだわった訳をつけさせることが大切である。聞き取れない部分を日本語力でカバーしようとしてしまう傾向が出てしまうためである。

サマリーについては逐次で訳すよりやさしいと思う学生もいるかもしれないが、実際そうではない。サマリーとは重要なところだけをまとめるのであり、往々にして聞き取れたところだけをまとめたり、全文をだらだらと訳してしまいがちになるからである。中心となる情報を字数限定（日本語でも中国語でもよい）でサマリーさせるのもよい。なお、聞き取る文章に出てくる語彙をリストアップしたものを事前に配布して（使用教材項例4参照）意味を調べさせておいた上で、反応を早くするためのクイックレスポンス（単語を聞いてすぐ訳語を言う）をしてから、リスニングに入ることもよい効果が得られると思われる。

授業以外に宿題として、聴解力や音声認識力だけではなく、総合的な力もつけるため“听写”の宿題を課し、提出させる。ただ、書き取って原稿を仕上げるのが目的ではないということ、以下の点を事前に周知させておく必要がある。

- ・最初は初めから終わりまで通して繰り返し聞いてみて、どういう内容の話かを理解する

ようにする。

- ・抜けているところがあってもかまわないので、あまり短い単位で切らずに、1 センテンスくらいを聞くようにする。
- ・どうしてもわからないときは前後から判断してどういう要素の語が来るべきか、どういう意味の語が来るべきかなど文法知識や背景知識などをフルに使って仕上げる。
- ・できあがったら、テープで聞き漏らしているところがないかチェックして、一度全文を訳してみる。

課外の宿題としては上の“听写”と訳文の暗記、語彙をリストアップした場合はその暗記と学生にとってはかなりの負担となるが、これくらいしないとなかなか目標到達は難しいであろう。

## 使用教材

授業をビジネス中国語会話を使ったもの、まとまった文章を使ったものの2部構成とすることから、使用する教材は当然2種類である。

ビジネス中国語については市販のものもいくつか出ているので、それを使用してもかまわないが、内容、分量、進め方（学生にあらかじめ内容を知らせない）の面から見ればあまり適当ではないので、オリジナルのプリントを毎回配布する。

オリジナル教材を作成する時のポイントはあまり特別な専門用語はできるだけ避ける、一つの会話をなるべく10文字以上30文字以内くらいに抑え、会話全体を250文字から400文字にする。

### 例) 1 名古屋を舞台にしたビジネス会話教材

村 松：今日は星期天，暂且忘掉工作，尽情地游览一下市内的风光吧。

王：连休息日都麻烦您，实在抱歉。

村 松：这是应该的。想去什么地方？

王：我对这里的情况不太了解，就随您的便吧。到什么地方都可以。

村 松：那么，先去车站上面的了望塔上去看看吧。它是去年12月23号刚开放的。

王：让您这么一说，想起来车站上面的确有两栋楼，回宾馆的时候看到过。原来上面是了望塔呀。

村 松：是的，因为有两栋楼，所以被称为“双塔”。从您住的宾馆的方向来看，车站的左侧是宾馆楼，右侧是写字楼。

王：是几层楼？

村 松：宾馆楼是53层，写字楼是51层。其高度分别为226米和245米，是这个地区最高的建筑物。

王：怎么上去呢？

村松：请跟我来。先坐这个电梯上12楼，在那里买门票。然后，再乘到了望塔的直通电梯。

例) 2 上の教材をもとにした応用練習日本語

村松：今日は午後はフリーですから、どこかお行きになりたいところがありますか。

王：フリーのときまで申し訳ありませんね。

村松：別に用事ありませんから。かまいませんよ。

王：ビデオカメラを買いたいのですが、どこか案内してください。

村松：じゃあ、とりあえず駅のそばにある電気店にでも行ってみましようか。

王：そういえば駅のそばに大きな電気店がありましたね。御社へ伺うときに見かけましたよ。あそこは新しいのですか。

村松：ええ。先週の金曜日にオープンしたばかりなんですよ。だから今は特に安いです。お泊まりになっているホテルからも近いので便利です。

王：何階建てなんですか。

村松：5階建てで、1階～3階は家電製品、4階がパソコンやビデオカメラ、5階は免税品です。名古屋で一番大きい電気店なんですよ。

王：免税品もあるのですか？

村松：まずこのエレベーターで4階まで行き、そこでビデオカメラを見て、それから5階の免税品も見てみましょう。

リスニングについてはいろいろな市販のテキストも出ているので、それを使用してもよいが、先のビジネス中国語のところであげた理由以外に、こればかりでは刺激が少ない。また、実際のラジオやテレビの放送を使用することにより、聞き取れたときの学生の自信は大きいであろう。

さすがにテレビのニュースなどはスピードが速い（代表的な“新闻联播”で1分間平均140文字）ので、ラジオ放送を使用する。ブロードバンドの普及と共に、ネットを通してクリアな音声のラジオ放送が簡単に聞くことができる。その中で教材として興味をもって使用できそうなのが、“中央人民广播电台”(<http://www.cnradio.com/>)の“晚报浏览”（1分間平均120文字）という番組である。例3からも分かるように、身近な話題を扱っており、語彙も難しくない。

例) 3 “晚报浏览”より

根据统计数字显示，肥胖的女士远远高于肥胖先生。女人身体脂肪含量比男子要多，标准体重下的女子身体脂肪含量是25%，而男子只有15%。很多家庭主妇都会觉得，她们每天洗衣服、做饭、带孩子、打扫房间，一天下来所做的运动也不少，可是身上脂肪还是那么多。

其实，这些家务劳动都不能够算作运动，达不到减去脂肪的作用。家务劳动不能使心律升高，而且不能够持续足够长的时间，也不能够使你身体处于担负一定时间下的一定负荷状态，对于身体的肌肉来讲，只不过是“挺忙的”而已。所以说，它不能代替运动而达到减肥

的目的。

也有一些强度很高的劳动可以归入某项运动，但是它不是有氧代谢运动。因为强度过高会使肌肉在缺乏充分的氧气条件下做工，所以就不能够去除肌肉间的脂肪。所以说，通过做家务是不能达到减肥的目的的。

例) 4 事前に調べさせるためにピックアップした語彙(前後から判断できそうな語は除くのが望ましい)

脂 肪	算 作	心 律	负 荷	有 氧 代 谢 运 动
氧 气	肌 肉			

## 最後に

以上、具体的な教材例をあげて、通訳訓練を前にした段階でのリスニングを中心とした授業展開の一例を紹介してきた。習熟度でクラス分けをし、受講者数13名という恵まれた環境のもとで、行ってみたところある程度の成果を得ることができた。

教材の準備、提出させた宿題の原稿のチェックと担当者にはかなりの労力が伴うが、うまくいけばそれだけの成果はあがる。これを基礎にして、4回生で通訳訓練の基礎的なことを取り入れていけば、4年間の学習を終えて卒業する頃にはそれなりの中国語の運用能力がついていると思う。